

# OBP協議会 令和4年度 災害時行動訓練の実施イメージ

## 1. 訓練の目的

- ① OBP 防災 WEB システムを使った情報伝達・共有を体験する
- ② 大規模地震発災後のエリアの状況をシミュレーションし共有する
- ③ シミュレーションの中で助け合いを想定したイメージトレーニングを行う  
(防災 WEB システムを利用して行う)
- ④ ①～③を通じてシステムの評価を行い、改善点を見つける
- ⑤ ①～④を通じて災害時のタイムラインを整理し、防災 WEB システムをツールとして、災害行動マニュアルの見直しに向けたポイントを整理する

## 2. 訓練の進め方

- 発災（平日 14 時想定、南海トラフ巨大地震）から数日経過までをシミュレーションしながら防災 WEB システムを使った訓練を行う
- 訓練参加者（プレイヤー）は、各社（各ビル）の防災担当者
- プレイヤーは発災時と同じ状況を想定し各ビルにて参加  
進行はオンライン（ZOOM）で行う
- 災害対策本部をどこに設置するか？

## 3. 訓練実施日

令和4年10月26日（水）14：00～16：00 頃

## 4. 訓練の流れ

- 開始時までに各者 ZOOM に入室し、無線機と WEB システムを利用できる状態で待機  
↓
- 14:00 に発災想定 訓練開始を宣言 (ZOOM)  
(ZOOM 画面上で発災後の揺れや周囲の状況をイメージするスライドを投影)  
↓
- 災害対策本部の設置を本部長が判断し、その後本部を設営するプロセスを ZOOM 上に展開  
↓
- 本部を設営した旨を無線で連絡 (各社、無線で返答する)  
↓
- 発災から 2~3 時間経過まで、本部が行う情報収集 (テレビ・ラジオや区役所との無線通信) を ZOOM 上に展開  
(その中で中央区、都島区との無線通信訓練を行う)  
↓
- 発災から 4~6 時間経過 (18 時~20 時頃) し、エリア内で被害が発生していることが明らかになってくることを想定  
(被害状況を想定し、状況付与としてスライド投影)  
↓
- ここからは発災から数日経過までを想定した情報の収集や配信、助け合いのイメージトレーニングを行う (インターネットが使える想定)

### トレーニング①・・・各社の状況把握

本部から WEB システムに投稿 (20 時頃想定)	本部が集めた情報では、公共交通機関は全て運行停止、再開の 目途はたっていません。皆さん、何か困っていることはありませんか？ ⇒各社 WEB システムに回答を投稿
----------------------------------	--

### トレーニング②・・・あるビルからの SOS

〇〇ビルから WEB システムに投稿 (発災翌日の夕方想定)	ビルの備蓄のある部屋の扉が開かなくなり困っています。 特に簡易トイレの数が足りません。助けてもらえませんか？ ⇒各社 WEB システムに回答を投稿
--------------------------------------	---

### トレーニング③・・・本部からの助け合い呼びかけ

本部から WEB システムに投稿 (発災から 2 日後の 昼頃想定)	区役所からの情報で、明日には地下鉄鶴見緑地線等順次いくつ かの鉄道が運転再開すること。 エリアのいくつかのビルで備蓄が不足していると連絡がきてい ます。明日から順次帰宅できるとして、備蓄の提供等協力いた だけることを投稿して下さい。 ⇒各社 WEB システムに回答を投稿
---	--

※このような WEB システムを使った想定での助け合いをいくつか行う

## 5. 訓練後のワークショップ

以下の視点で、意見交換を行う。

- ① 防災 WEB システムを利用してみたの感想、改善点など、
- ② 災害時を見据えたエリアでの備えについて
  - 防災 WEB システムを備えたことによるマニュアルの見直し
  - 助け合いイメージトレーニングを行ってみて、エリアの備えの活用や必要なもの

など